

株式会社アイフリークモバイル 決算補足説明資料 2022年3月期第1四半期

JASDAQ : 3845

2021年8月13日



伝わる★つながる★広がる

TRANSMIT CONNECT EXTEND





2022年3月期 第1四半期 決算概要

2022年3月期 第1四半期 総括

【業績】 前年同四半期比15.1%の増収。
営業利益以降の各段階利益は前年同四半期比大幅増益。
通期売上計画に対する進捗22.5%。

【事業】 コンテンツ事業：

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、
非接触で楽しむことができるデジタル絵本や
知育アプリ等、親子向けコンテンツへの需要増。

CCS事業：

2021年6月1日付でリアリゼーション株式会社を吸収合併し、
管理体制の統一化、経営・組織運営の合理化を推進。
グループ全体の稼働率改善し、高水準を維持。

2022年3月期売上計画に対する進捗



2022年3月期 第1四半期 連結P/L 要約

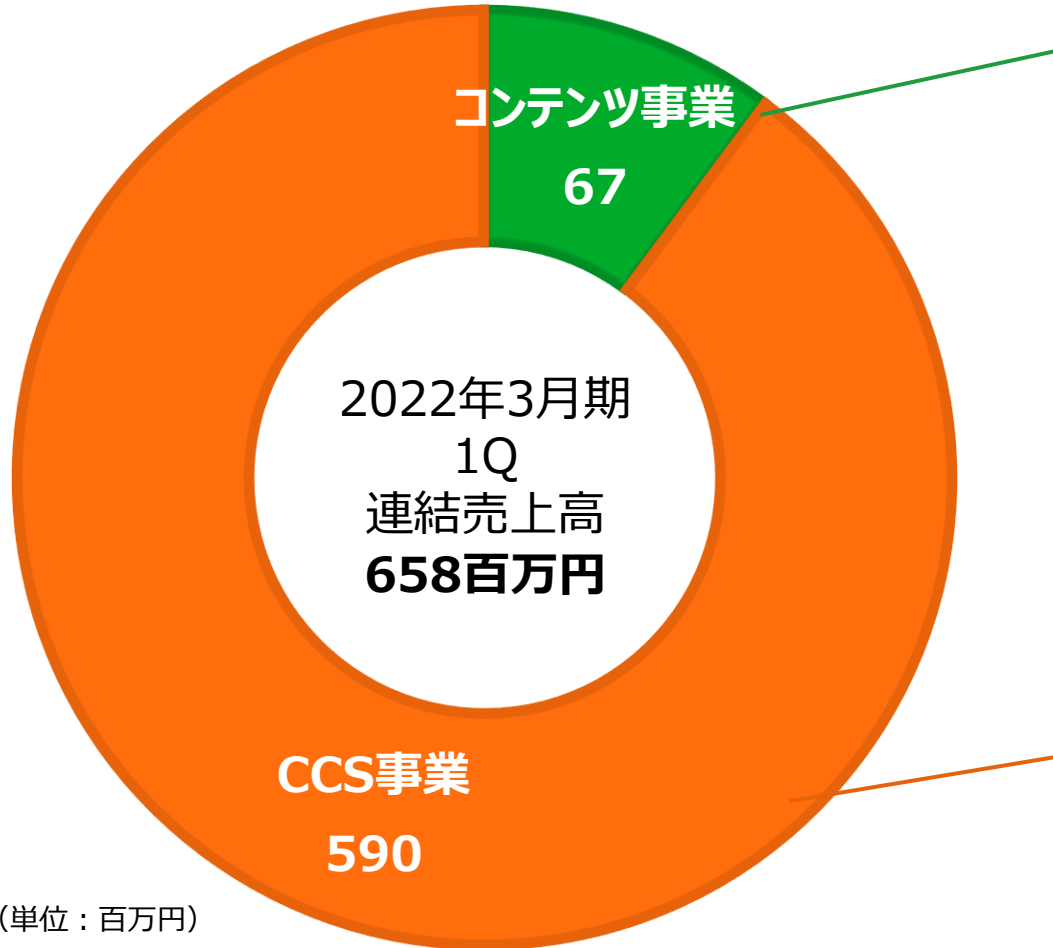
CCS事業の稼働率改善が寄与し、営業利益、経常利益が前年同四半期比大幅増。
営業外収益として雇用調整助成金22百万円、事業拠点の統廃合による特別損失2百万円を計上。

(単位：百万円)

	2022年3月期 1Q実績	2021年3月期 1Q実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	658	571	86	15.1%
売上総利益	209	116	93	80.4%
販売費及び一般管理費	177	238	△60	△25.4%
営業損益	31	△122	154	—
経常損益	63	△111	174	—
親会社株主に帰属する 当期純損益	62	△98	160	—

報告セグメントの状況

【売上高構成比】



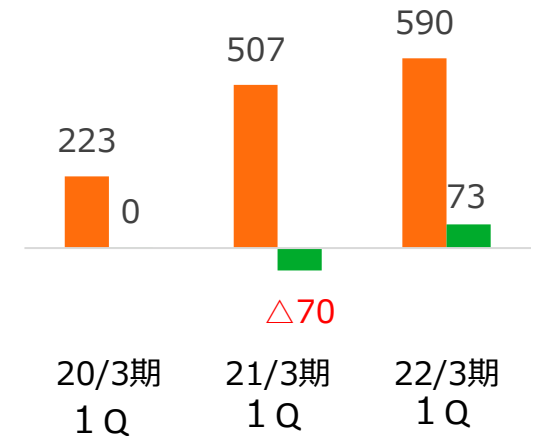
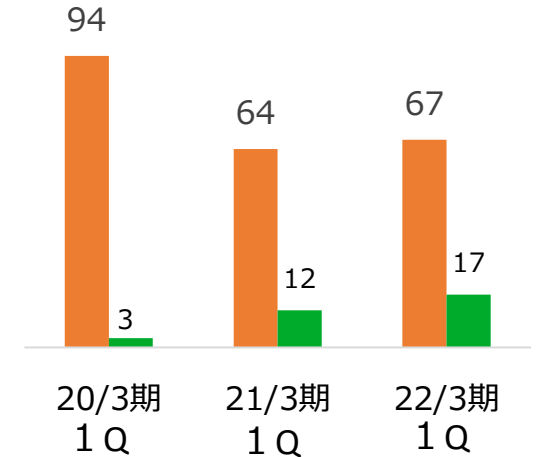
【コンテンツ事業】

新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、非接触で楽しめる親子向けコンテンツやICT教育分野、知育アプリへの需要増。デジタル絵本「おしたら おしまい」株式会社ポプラ社より書籍化。

【CCS事業】

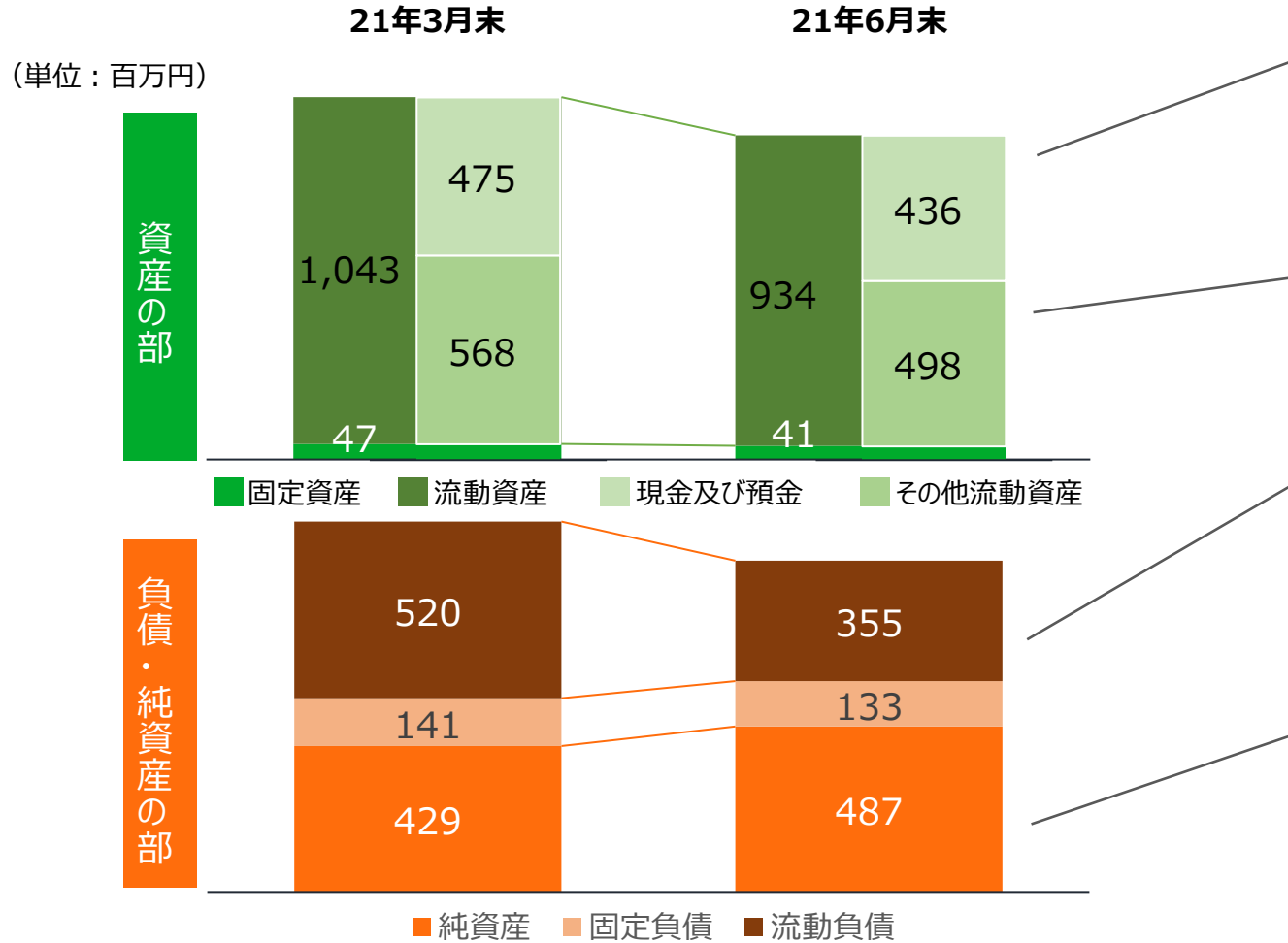
新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、受注が回復し稼働率大幅改善。子会社のリアレーション株式会社の吸収合併により運営体制効率化。

売上高 セグメント利益



2022年3月期 第1四半期 B/Sの状況 (連結)

B/S(連結) 2021年3月期末比較



【主な増減要因】

【流動資産】

未収入金 : 10百万円増加
受取手形及び売掛金 : 83百万円減少

【固定資産】

敷金 : 4百万円減少

【流動負債】

未払消費税等 : 76百万円減少
未払法人税等 : 57百万円減少

【固定負債】

長期借入金 : 8百万円減少

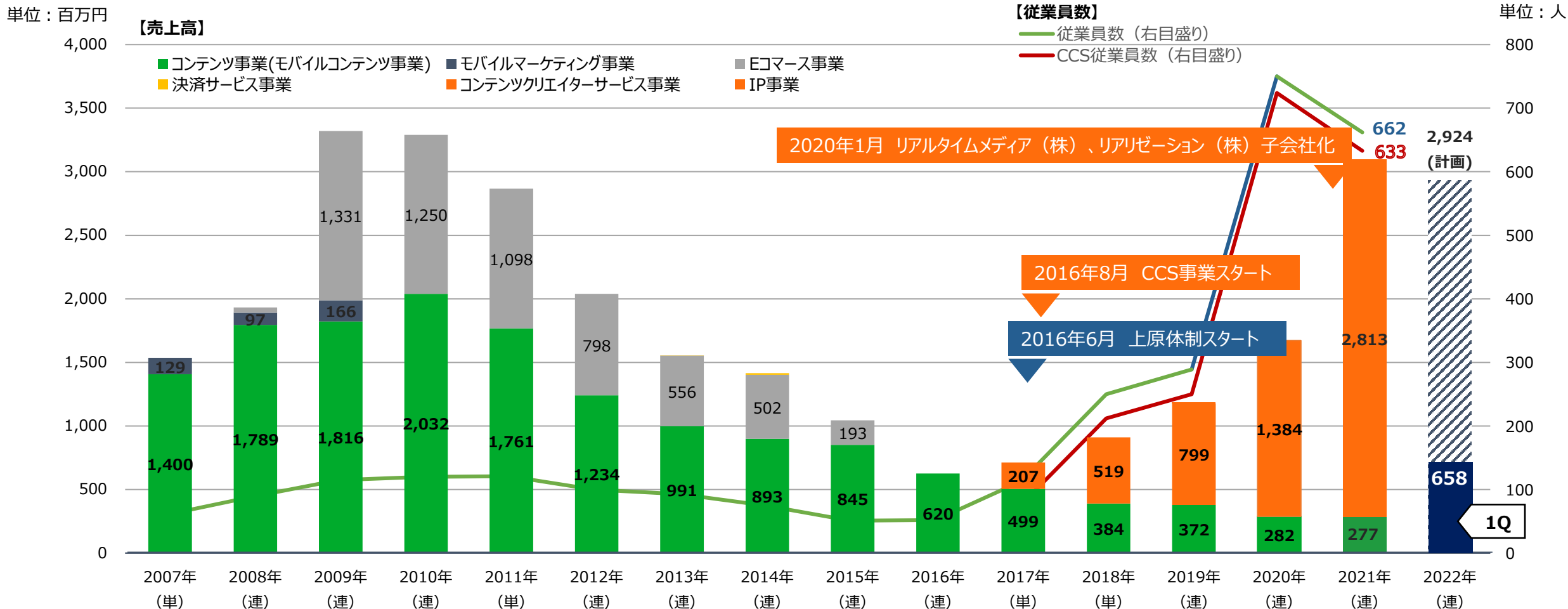
【純資産】

親会社株主に帰属する
四半期純利益 : 62百万円計上

業績と従業員の推移

伝わる
つながる
広がる

売上高・従業員数推移（上場～）



2022年3月期 第1四半期 トピック

4月 モンスターを育てながら算数学習ができるアプリ「かずのトライ」iOS版アップデート&Android版提供開始！

200種類以上のあそびを楽しめる知育アプリ「あそびタッチ」がユーザーの要望に応じてサブスクリプションモデル(Android版)を開始！

5月 【iOS版】200種類以上のあそびを楽しめる知育アプリ「あそびタッチ」ユーザーの要望で生まれたプレミアム機能が配信開始！

資本金、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分並びに定款一部変更に関するお知らせ

6月 絵本アプリで話題の作品「おしたらおしまい」が書籍化！情報社会を生きる子どもたちに最初に読んで欲しい絵本

インターナショナルスクール「ココアスキッズ」と絵本アプリ「なないろえほんの国」が共同製作親子でSDGsの理解を深める絵本シリーズ第2弾配信開始！

Topic:組織再編について

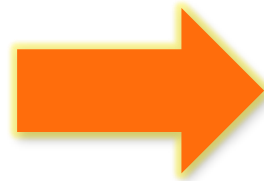
CCS事業を行う各子会社について、グループの成長を一層加速させるため組織再編を実施。
営業、マーケティング、人材採用、研修体制の統一化、経営の合理化と組織運営の効率化を図る。



Topic:コーポレートサイトリニューアル

- デザインや設計を刷新し、株主・投資家のみなさまに向けたIR情報を改良・充実させ、当社の事業や理念をより多くの方に分かりやすくお伝えするため、コーポレートサイトを全面リニューアル

リニューアル前イメージ



リニューアル後イメージ



<https://www.i-freek.co.jp/>



2022年3月期 事業計画

2022年3月期 事業方針

黒字化の達成と来期以降の成長に向けた収益の土台作り

コンテンツ事業

1. 絵本アプリ、知育アプリをはじめとした親子向け教育・知育コンテンツの改修と機能拡充に注力。
2. 利用者拡大やシナジー創出を目的とした協業先の開拓

CCS事業

1. 専門領域に特化したエンジニアチームの育成
2. 収益性と成長性の確保に向けた協業先の開拓、新規事業の推進

2022年3月期 業績計画

	2022年3月期			2021年3月期 実績
	計画	増減額	増減率	
売上高	2,924	△166	△5.4%	3,090
営業損益	116	+267	-	△151
経常損益	164	+151	-	13
親会社株主に帰属する当期純損益	114	+187	-	△73

(単位：百万円)

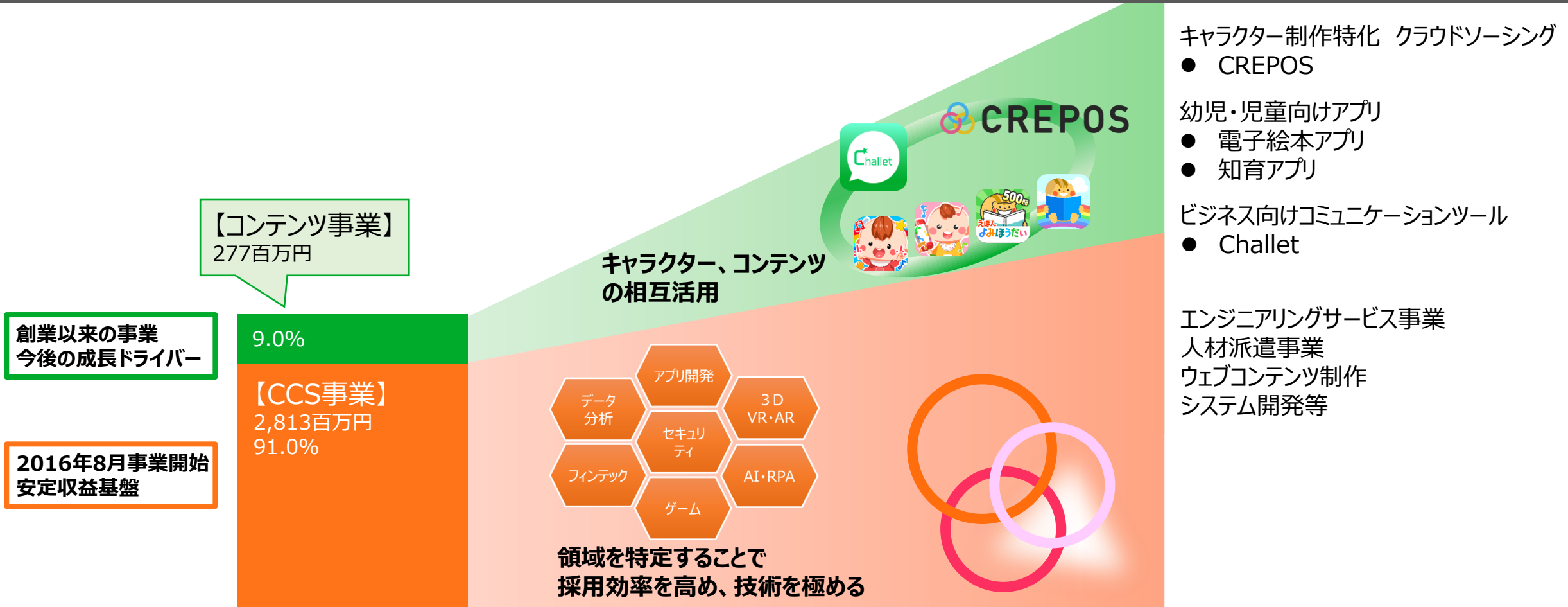
【新型コロナウイルスの影響について】

短期収束は困難と見通し想定し業績計画を策定。CCS事業にて組織運営の効率化・合理化による確固たる収益基盤体制の確立を図るとともに、コンテンツ事業では事業拡大の機会を図りながら状況を注視。

中長期成長戦略

伝わる
つながる
広がる

CCS事業を基盤にコンテンツ事業の収益化により永続的成長を実現



※2021年3月期売上

本資料は、今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は注記のない限り2021年6月30日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。